

川崎教育プラン  
基本理念

夢や希望を抱いて生きがいのある人生を送るための礎を築く

学校教育目標

- 1 豊かな言語力と確かな基礎学力
- 2 自他ともに大切に作る心と自主的に行動する力
- 3 心身ともに健康で、社会を生きぬく力

目指す学校の姿

子どもたちの笑顔、先生方のやる気、保護者の安心を創る学校

目指す幼児児童生徒像(育成する資質・能力)

豊かな心 豊かな情操と、他者を大切にして共に生きる心を持つ  
幼児・児童・生徒

確かな学力 日本語の読み書きの力、コミュニケーション力、学力等の向上のために粘り強く学び続ける幼児・児童・生徒

健やかな体 健康で丈夫な身体を持つ幼児・児童・生徒

目指す教師像

- ・人権感覚に敏感であり、子どもたち一人一人を大切にする教師
- ・日々の授業を工夫し、より良い授業のために努力を怠らない教師
- ・仲間を大切にし、互いに高め合う教師

教職員全員で創る  
聾学校の教育

目指す授業(主体的、対話的、深い学び)

- ・ことばを豊かにする授業
- ・進んで学びたくなる授業
- ・分かりやすい授業
- ・じっくり考えさせる授業

令和6年度 学校運営の重点的取り組み

- 1 自己選択、自己決定ができる場を設定し、互いに認め合う様々な体験を通して自己実現力、自己肯定感を高める。
- 2 川崎市研究推進校本発表に向けた研究の推進及び、取り組みを通して聾教育のあり方等を理解・共有し、専門性の向上を図る。
- 3 GIGA端末の有効な活用方法等を探り、個々に応じた豊かな教育につなげる。
- 4 校内の情報保障環境についてのあり方を考え、教職員の共通理解を深める。
- 5 地域の関係機関等との連携を強化し、センター校として川崎市全体の聾難聴児支援の役割を果たす。また、地域支援力のさらなる向上をはかる。
- 6 異学年交流、学校間交流、居住地校交流等の交流活動を推進し、幼児児童生徒の社会で生き抜く力につなげる。

令和6年度 各学部の重点目標

幼稚部

○色々なことに興味を持ち、自分で考え「ことば」で伝えあうことを楽しむ子を育てる

○よいことと悪いことが分かり、相手の気持ちを考えながら人との関わりを楽しむ子を育てる

○色々なことに主体的に関わりながら健康な心と体を作り、自分の力で自信をもって取り組む子を育てる

小学部

○多様なコミュニケーションの力と言語力を育て、基礎学力を養う

○話す、聴く力を高め、相手のことを考えて、自分の思いを伝えようとする態度や気持ちを育てる

○運動習慣、自立的な生活態度を養い、粘り強く取り組もうとする力を育てる

中学部

○個に応じた基礎学力、言語力、社会常識を養う

○自分、他者、集団を大切にし、自主性と協働する態度を培う

○自分の心と体を大切にして、コミュニケーション手段を工夫して自分らしく社会を生き抜く力を培う

高等部

○基礎的な知識・技能を獲得し、応用する力を育む

○互いを尊重し、協働する力を育む

○心身ともに健康な身体を維持し、自分らしい豊かな生活を送る力を育む

聴覚支援センター

○市内のきこえに心配のある児童生徒やそのご家族、川崎市内の園・学校などを対象に相談支援、理解啓発を行う

○関係諸機関と連携をしながらきこえに心配のある乳幼児、児童生徒支援の充実を目指す

《通級指導教室》

○児童生徒のきこえの状態や特性を的確に捉え、きこえへの支援を通して、周囲と円滑なコミュニケーションを培う力を高めることができるようにする。

○自己肯定感を育み、聴覚障害による生活上・学習上の困難を主体的に改善することができるようにする